



東寺の家

無垢の木の家 完成宅のご案内

永く住み継いできた慣れ親しんだ土地に、変わりゆく家族のカタチに合わせて住み替えるためのお家がありました。

スペースが限られているからこそ、本当に必要なものは何なのか、改めてお施主様と見つめなおしました。暮らしの中で、ほんのささいなことでも、大事にしたいこと。

季節のお花や、掛け軸をしつらえること

日々、家族の思い出を感じることに

大切な道具をしまう場所

一人で過ごす時間、家族と過ごす時間、どちらも気持ちよく大切にしたい。

京都特有の、細く長い敷地。

通りに面した和室の窓からは、木格子越しに外の様子をうかがえます。

かつての面影が残る、和のしつらいの外観です。

おおらかな勾配天井が広がる、明るい空間の2階では、家族がそれぞれ、ゆったりと時間を過ごせます。

国産の無垢の木と、光を美しく反射させる珪藻土の塗り壁を基調とした、主張し過ぎない、プレーンなインテリア。木と自然素材でできた、気持ちのよい空間です。皆様ぜひご体感ください。

3月 25 (金) 26 (土) 27 (日)

会場 京都市南区



彩工房

チルチンびと
「地域主義工務店」の会

ぬくもり

例えばお鍋の取っ手やお風呂の椅子。木は、熱くなりやすく、ひやっとした冷たさもあります。それは、木の体積の半分以上を空気が占め、熱を伝えにくいから。たとえばスギの熱伝導率（熱の伝えやすさ）はコンクリートの約12分の1、鉄の480分の1。心地よい自然なぬくもりを感じられます。

やさしいクッション

無数の細胞の集まりである木は、物がぶつかると、適度に衝撃を吸収し、クッションのような働きをします。特に無垢材のフローリングは、硬すぎず柔らかすぎず、転倒によるけがを防ぎます。使うほどに艶や味わいが出てくることも、無垢材ならではの魅力です。

木のひみつ

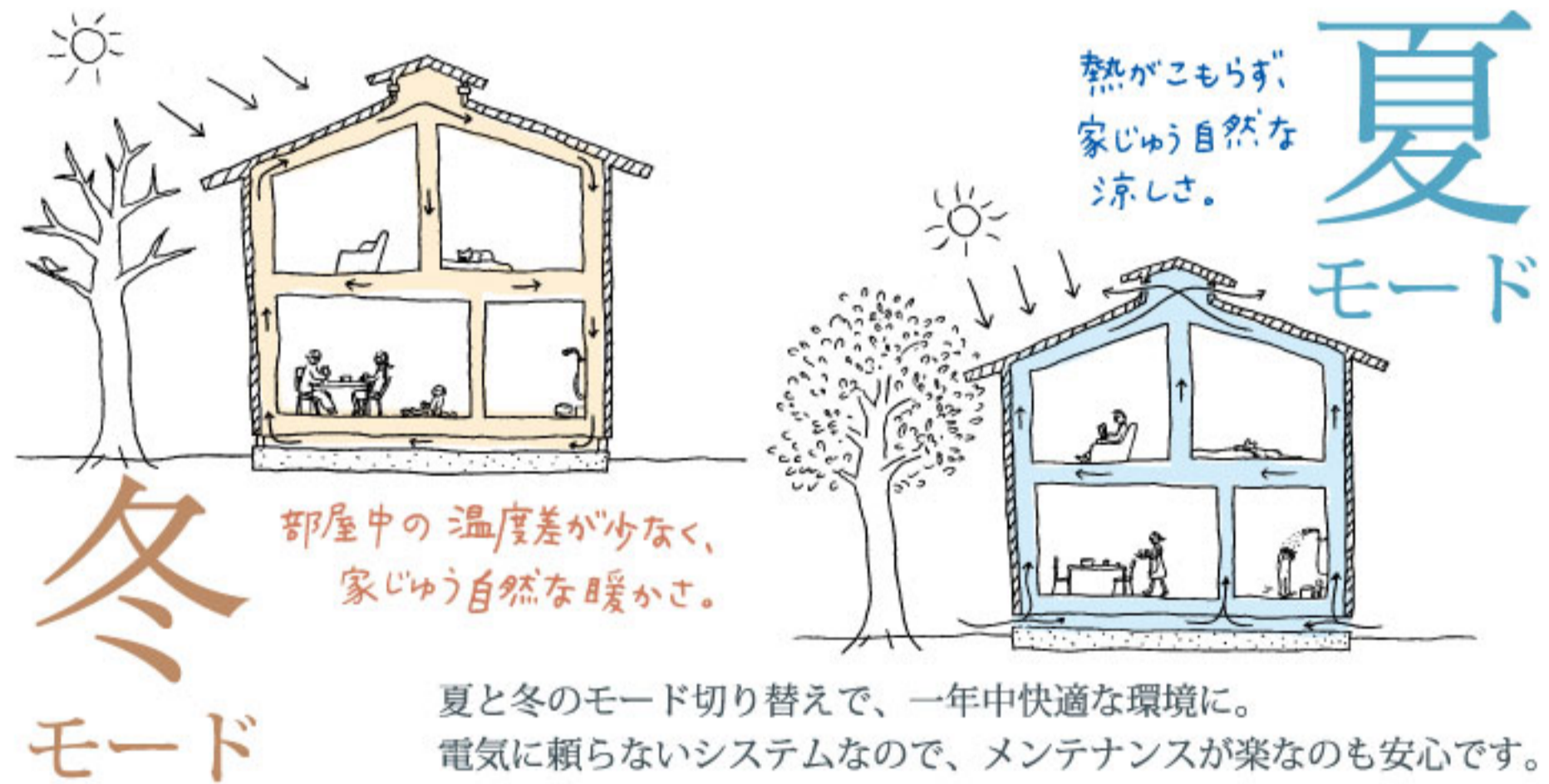
乾燥・結露をふせぐ

人に最適な湿度は、ダニやウィルスが発生しにくい40～60%と言われています。木は、湿度が高いと水を吸い、逆に低いと放出し、天然の調湿機能で、お部屋の乾燥や湿気をふせぎます。水分の通らない塗装をしたり、ビニルクロスや合板で覆うと効果が減ってしまうので、土壁など、なるべく透湿性のある素材で覆うことが大切です。



壁体内通気工法「ソラリ」

冬は、基礎と越屋根の換気口を閉じ、お部屋を空気の層で包みます。逆に夏は換気口を開けることで、温度の上った壁体内の空気が上昇気流となり、熱や湿気とともに外へ放出されます。



夏と冬のモード切り替えで、一年中快適な環境に。電気に頼らないシステムなので、メンテナンスが楽なのも安心です。



*写真はイメージです。

3月 25 (金) 26 (土) 27 (日) 10:00-16:00

会場 京都市南区

- ・お申し込み時に、ご希望の見学日時をお伝えください。
- ・30分に1組ずつのご案内となります。他のお客様と重ならないよう配慮しておりますので、時間厳守にご協力ください。
- ・お施主様のご厚意により、ご入居前のお宅を見学させていただきます。十分にご配慮いただきますようお願いいたします。



- ・お申し込み時に、詳細をご案内いたします。
- ・近鉄「東寺駅」、JR「西大路駅」より徒歩10分程度です。
- ・マスクの着用および手の消毒にご協力ください。
- ・当日、体調の優れない方は、参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。

お申込み・お問い合わせ ▶▶▶

彩工房 <http://www.saikobo.co.jp>

彩工房ホームページの申込みフォームにてお申し込みください。
3月11日(金)より受付を開始します。
参加される方全員のお名前とご連絡先、お子様の場合は年齢もご記入ください。

彩工房

info@saikobo.co.jp

tel:075-632-9889

京都市山科区四ノ宮大將軍町15

よい家をつくる。